

**令和5年度第1回
関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会
議 事 概 要**

- 1 開催日時：令和5年7月6日（木）15時00分～16時00分
- 2 開催場所：関東地方整備局 共用AV会議室504（一部Web方式）
- 3 出席委員
 委員長 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授
 委員 政木道夫 シティユーワ法律事務所 弁護士
 “ 村野昭人 東洋大学 理工学部 教授
 “ 山田務 筑波大学 ビジネスサイエンス系客員教授
 （委員は五十音順）
- 4 議 事
 - ・ 令和4年度関東地方整備局コンプライアンス報告書（案）について

【主な意見】

- ・ 選択と集中が必要で、取組も内容拡充だけでなく、あまり効果がないものは縮小することも効果を上げる上で重要。
- ・ 不正事案においては、個人の内面だけに着目せず、環境を整えてあげることが重要。
- ・ 管理体制をしっかりと整えることと業務についてはバランスが必要。
- ・ 個人に起因する不祥事について、種々の取組で対応する一方で、不祥事を誘発しかねない制度や風土について、組織全体で対応して不祥事の芽を摘んでいくことも重要。
- ・ 取組をしている中で、問題点のとっかかりがあるかもしれず、問題が生じる前にそれを受けて対応することも考えられる。
- ・ 発注者綱紀保持の設問等、繰り返し実施し、意識を醸成することが大事。

【主な質疑】

質 問	回 答
報告書(1)②i)「職員に対する徹底」と(2)②ii)「入札契約にかかる情報管理の徹底」は関連があるが、評価が「确实実施」「おおむね実施」と異なる理由は。	(1)②i)は講習会等の実施といった職員への意識付けで确实に実施したと評価。(2)②ii)はその効果にあたる部分で、情報管理が一部不徹底な事案もあり「おおむね実施」とした。
今年度の取組において、拡充を図るとされているものが多い点について。	拡充には改善という意味も含まれており、増やすだけでなくアップデートといった形で取り組みたい。
情報管理整理役職表のような管理体制と業務のすり合わせはされているか。	昨年度の事案を受け、所属の実情に合わせて作成、試行しており、特段業務に支障があるとの意見はない。
コンプライアンス指導者の現場での活用、活躍体制について。	研修枠の問題で徐々に増やす予定。巡回講習会等での活用を予定。

以上